

国語科単元構想シート		単元名	good(ぐっと)きた！を届けようプロジェクト		全9時間
		教材名	大造じいさんとがん（教育出版 5年上・東京書籍 5年）		
単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)	○比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。〔知識及び技能〕(1)ク	評価規準			主体的に学習に 取り組む態度
	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ				
◎…指導の重点	○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ	進んで、物語の全体像を具体的に想像し、学習課題に沿って考えたことを伝え合ったりまとめたりしようとしている。	
言語活動	物語を読んで心にぐっときた表現とその理由をPOPにまとめて、他学年で紹介する。				
単元の流れ		目指す児童の姿		目指す児童の姿にせまる指導の手立て	
<p>① 学校司書によるブックトークを聞き、並行読書材を読む。(単元開始1か月前～)</p> <p>② ① 物語を読んで、心にぐっときた表現とその理由をPOPにまとめて紹介するという単元のゴールを設定する。POPのモデルを基に、学習計画を立てる。</p> <p>③ ② 教材「大造じいさんとがん」の内容の大体を捉える。</p> <p>④ ③ 心にぐっときた表現を見つけ、その理由を学級内で交流する。</p> <p>⑤ ④ 心にぐっときた表現について、6年生と交流する。</p> <p>⑥ ⑤ 心にぐっときた表現を全員で共有して、心にぐっとくるポイントを確かめる。</p> <p>□人物の考え方や生き方がよく表れている性格や言動</p> <p>□人物の関係やその変化</p> <p>□他の登場人物との関わりによる人物の心情の変化</p> <p>□情景描写の工夫</p> <p>⑦ POPにまとめる。</p> <p>⑧ ⑦ 自分が選んだ物語の心にぐっときた表現とその理由をPOPにまとめる。</p> <p>⑨ ⑧ 本とPOPを用いて、心にぐっときた表現とその理由を紹介する。紹介後は図書室にPOPを置く。単元の振り返りを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じて、話し合う相手を選んでいる。</li> <li>・ 文章中の言葉に着目しながら他者の考えを聞いたリ問い返したりして、他者の考えに対する理解を深めている。</li> <li>・ 文章を読んで理解したことが確かかどうか、もう一度読み返している。</li> <li>・ 対話で得た気付きを書き表している。</li> <li>・ 他者の考えと自分の考えを比較して、自分の考えを広げている。</li> <li>・ 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるにはどうすればよいか考えながら表現している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ POPのモデルを基に、理由の書き方を確認する。</li> <li>・ モデル動画を基に、目指す児童の姿を示す。</li> <li>・ モデル動画は随時タブレットで視聴できるようにする。</li> <li>・ 個々の学びの状況を把握し、その状況に応じた交流の目的をもてるようにする。</li> <li>・ 児童が目的に応じて、交流の相手を選択できるように、各児童の心にぐっときた表現について、拡大した全文シートに名前の付箋を貼り、共有できるようにする。または、児童の読書履歴を一覧にした表を活用する。</li> <li>・ 振り返りの観点を参考にして、次の学びにつながる振り返りができるようにする。</li> <li>・ 児童が個々に学びを記録したり振り返ったりするように促す。</li> </ul>	